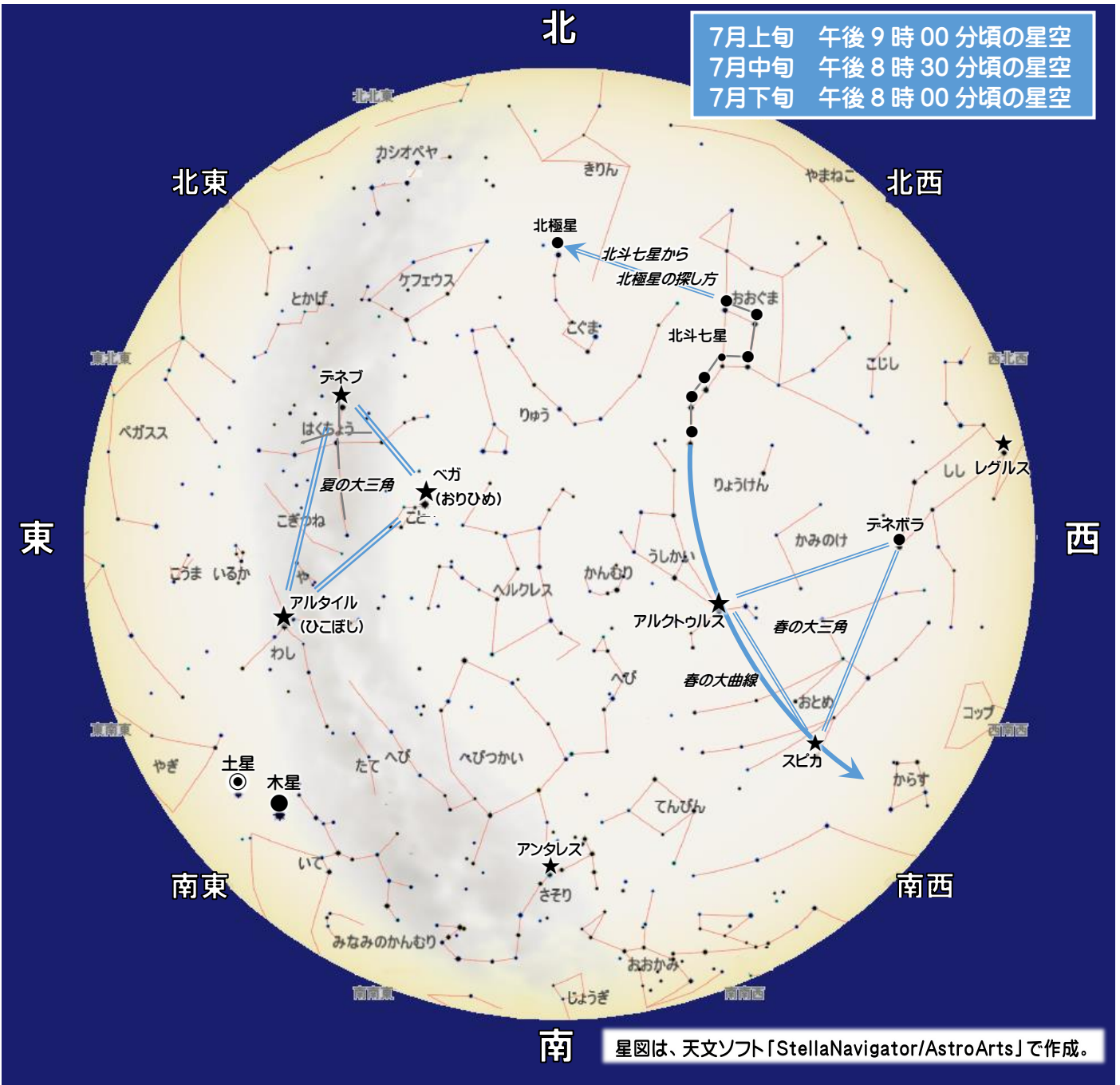


# 2020年 7月の星空案内



## 【7月の星空】

空がすっかり暗くなるころ、東の空から天の川が上ってきます。天の川の両岸に、七夕の星「こと座のベガ（おりひめ星）」と「わし座のアルタイル（ひこ星）」が輝き、この2つの星に「はくちょう座のデネブ」を加えてできる 大きなとがった三角形が『夏の大三角』です。残念ながら7月初めは雨の多い時期です。七夕は、もともと旧暦の7月7日（今年は8月25日）の行事で、こちらを「伝統的七夕」と呼びます。

南の空の低い位置に輝く赤い星は「アンタレス」、この星を中心にSの字をのばしたような星の並びが「さそり座」です。南の空が開けたところで探してみましょう。

## 【木星と土星】

「木星」が14日に、「土星」が21日に『衝』を迎えます。衝の時期は、太陽のちょうど反対側に来るので一晩中見られます。木星は本体の縞模様や4つの大きな衛星（ガリレオ衛星）、土星は大きく開いたリングが特徴です。この2つの惑星はどんどん近づき、12月にはまるで重なるように見えます。ぜひご注目ください。街中からでもよく見ることができ、小型の望遠鏡でも観察できます。